

大谷大学博物館 2018年度特別展

「飛騨真宗の伝流－照蓮寺高山移転430年－」開催

飛騨地方の山村地域において脈々と受け継がれてきた念仏の伝流を、
高山別院照蓮寺をはじめとするゆかりの寺院の法宝物などから紹介

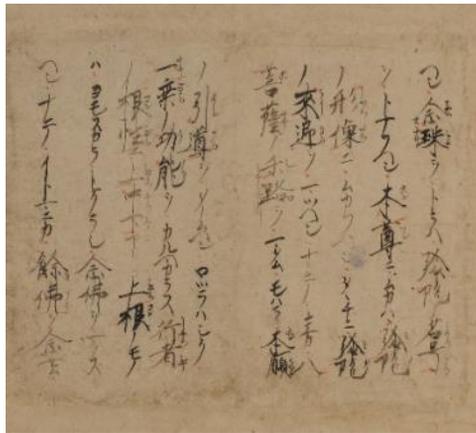
【期間】2018年10月12日（金）～11月28日（水）/※一般・大学生/500円

※10月11日（木）11時～12時 大谷大学響流館4F プレス向け展示説明会と内覧会を実施

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町)は、大谷大学博物館 2018年度特別展「飛騨真宗の伝流－照蓮寺高山移転430年－」を、2018年10月12日(金)～11月28日(水)まで開催します。

大谷大学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみることができる博物館です。

「世界遺産ひだ白川郷」で有名な飛騨地方には、今も真宗信仰が深く根づいています。その起源は、鎌倉時代に親鸞聖人の門弟であった嘉念坊善俊(かねぼうぜんしゅん)が白川郷鳩ヶ谷に草創した道場にありました。善俊の教化を受けた人びとは「白川善俊門徒(しらかわぜんしゅんもんどう)」と呼ばれ、飛騨における真宗信仰の中心を担うようになりました。室町・戦国時代になると、「白川善俊門徒」は本願寺の中部山村地域における重要な集団となっていきました。そして近世には高山藩主金森氏の厚い保護を受けて高山城下へと移転し、飛騨真宗の中心として今に至っています。



親鸞聖人筆 唯信鈔(断簡) 〔部分〕

本展覧会では、高山別院照蓮寺をはじめとするゆかりの寺院の法宝物「親鸞聖人筆『唯信鈔』(断簡)」や「蓮如上人筆「御文」(草稿)」など、鎌倉時代から江戸時代までの計38点を公開します。

なかでも、「親鸞聖人筆『唯信鈔』(断簡)」は、関西初公開となります。また、蓮如上人が授与した室町時代の阿弥陀如来画像や、一向一揆の記憶を語る古文書などから、中部山村地域において脈々と受け継がれてきた念仏の伝流を辿っていただければと思います。

高山別院照蓮寺(高山市) 紙本墨書 鎌倉時代(十三世紀)

宗祖親鸞聖人直筆になる『唯信鈔(ゆいしんしやう)』の断簡。

『唯信鈔』は、法然上人門下の聖覚(せいかく)法印が浄土念仏の要義を平易に説く書。

親鸞聖人は関東教化の時代にこの書に接し、書写したものを弟子たちに授与した。

本品は、東本願寺第十三代宣如上人が、別院(御坊)などの子どもたちに分け与えたもののひとつ。

企画展に先駆けて、大谷大学文学部・川端泰幸講師(歴史学)、大谷大学博物館・門井慶介PD学芸員がご案内する プレス内覧を、10月11日(木)11時～12時まで実施します。ご取材を希望される方は、10月10日(水)までに添付のFAX返信用紙にてご連絡ください。また、画像データ提供、別日での取材希望等のご要望もご相談ください。

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡 TEL: 075-411-8115 FAX: 075-411-8149

大谷大学広報デスク(プランニング・ポート内) 福嶋・橋本・古瀬 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

<一般の皆様からのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL: 075-411-8483 http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- 日時 2018年10月12日(金)～11月28日(水)10:00～17:00(入館は16:30まで)
※10月11日(木)11:00～12:00 響流館4階会議室にてプレス向け展示説明会と内覧へご案内します。
- 休館日 日曜日・月曜日 (ただし、11月18日(日)、19日(月)、25日(日)、26日(月)は開館)
- 場所 大谷大学博物館(京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F)
※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ
※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」
- 観覧料 一般・大学生／500円
- 主催 大谷大学博物館
- 後援 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、
京都市内博物館施設連絡協議会、京都新聞、真宗大谷派(東本願寺)
- 協力 エフエム京都

■記念講演会

『中世照蓮寺の歴史的性格』

- 講師 草野顕之(大谷大学 名誉教授)
 - 講演日 10月20日(土)14:00～15:30頃(予定)
 - 場所 大谷大学響流館3階 メディアホール
- ※聴講無料・事前申込不要

『飛騨真宗の形成と高山別院照蓮寺の歴史』

- 講師 竹田雅文氏(東等寺[高山市] 住職)
 - 講演日 11月10日(土)14:00～15:30頃(予定)
 - 会場 大谷大学響流館3階 メディアホール
- ※聴講無料・事前申込不要

展示一覧

番号	名称	員数	時代	所蔵者	展示期間
I 飛騨真宗の開闢—親鸞聖人と嘉念坊善俊—					
1	親鸞聖人御影	1幅	室町時代(明応7年=1498)	照蓮寺(高山市)	
2	嘉念坊善俊画像	1幅	江戸時代(18世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
3	笈(伝善俊所用)	1脚	—	高山別院照蓮寺(高山市)	
4	十字名号	1幅	室町時代(15世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
5	九字名号	1幅	南北朝時代(14世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
6	親鸞聖人筆 唯信鈔(断簡)	1幅	鎌倉時代(13世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
7	宝珠型舍利容器・親鸞聖人御遺骨	1基	—	高山別院照蓮寺(高山市)	
8	嘉念坊御命日記	1幅	江戸時代(17世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
9	光曜山岷江記	6冊	大正時代(大正3年=1914)	高山別院照蓮寺(高山市)	
10	光曜山岷江記	6冊	江戸時代(18世紀)	東等寺 冬任文庫(高山市)	
II 蓮如上人と照蓮寺					
11	蓮如上人御影	1幅	室町時代(15世紀)	大谷大学博物館	
12	方便法身尊像	1幅	室町時代(文明18年=1486)	秋聲寺(高山市)	
13	蓮如上人筆正信偈文	2幅	室町時代(15世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	前後期幅ずつ
14	蓮如上人筆六字名号	1幅	室町時代(15世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	前期
15	蓮如上人筆六字名号	1幅	室町時代(15世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	後期
16	蓮如上人筆御文(草稿)	1幅	室町時代(15世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
17	顕如上人御影	1幅	安土桃山時代(16世紀)	東等寺 冬任文庫(高山市)	
18	教如上人御影	1幅	江戸時代(17世紀)	東等寺 冬任文庫(高山市)	
19	石山名号旗	1幅	安土桃山時代(16世紀)	長圓寺(高山市)	
20	慈敬寺証智・教行寺証誓連署書状	1通	安土桃山時代(天正8年=1580)	高山別院照蓮寺(高山市)	
21	下間頼廉書状	1通	安土桃山時代(天正8年=1580)	高山別院照蓮寺(高山市)	前期
22	下間頼龍書状	1通	安土桃山時代(天正8年=1580)	高山別院照蓮寺(高山市)	後期
III 照蓮寺の近世					
23	聖徳太子御影	1幅	安土桃山時代(慶長5年=1600)	高山別院照蓮寺(高山市)	
24	七高僧御影	1幅	安土桃山時代(慶長5年=1600)	高山別院照蓮寺(高山市)	
25	五帖御文	5冊	安土桃山時代(16世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
26	親鸞聖人絵伝	4幅	室町時代(16世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
27	親鸞聖人御影	1幅	江戸時代(寛永16年=1639)	高山別院照蓮寺(高山市)	
28	金森長近画像	1幅	江戸時代(文化7年=1810)	高山別院照蓮寺(高山市)	
29	伝金森長近寄進甲冑	1領	安土桃山時代(16世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
30	宣如上人御影	1幅	昭和時代(昭和27年=1952)	高山別院照蓮寺(高山市)	
31	琢如上人御影	1幅	江戸時代(18世紀)	大谷大学博物館	
32	さな姫似影	1幅	江戸時代(17世紀)	不遠寺(高山市)	
33	貝合わせ	1式	江戸時代(17世紀)	高山別院照蓮寺(高山市)	
34	顕如上人ヨリ一如上人迄御系図写	1巻	江戸時代(18世紀)	大谷大学博物館	
35	松鷲猿画金屏風	6曲1隻	安土桃山時代(16世紀末~17世紀初)	高山別院照蓮寺(高山市)	
36	高山城下町絵図	1幅	江戸時代(17世紀)	了徳寺(高山市)	
37	宣如上人消息	1幅	江戸時代(17世紀)	大谷大学博物館	
38	位牌型舍利容器・東本願寺歴代遺骨	1基	—	高山別院照蓮寺(高山市)	

親鸞聖人御影〔しんらんしょうにんごえい〕



一幅 照蓮寺(高山市) 絹本著色 室町時代(明応七年＝一四九八)

二狭間の礼盤(らいばん)に纏縷縁(うんげんべり)の上畳を敷き、右を向いて念珠をつまぐる親鸞聖人の絵像。別装の裏書などから、明応七年(一四九八)に本願寺第九代実如上人から正蓮寺門徒に授与されたこと、その後改めて実如上人より、照蓮寺中興の第十世明心(みょうしん)へ授与されたものであることがわかる。

嘉念坊善俊画像〔かねんぼうぜんしゅんがぞう〕



一幅 高山別院照蓮寺(高山市)
絹本著色 江戸時代(十八世紀)

照蓮寺の開基である嘉念坊善俊(かねんぼうぜんしゅん)の絵像。出自は明らかでないが、ゆえあって伊豆国三島に流罪となっていた折、関東から帰洛する親鸞聖人と箱根で値遇し、即時に弟子になったという。その後縁あって飛騨国白川郷鳩飼(はとがや)(鳩ヶ谷)に道場を開き、真宗の教えを人びとにひろめた。

松鷲猿画金屏風〔まつわしさがきんびょうぶ〕

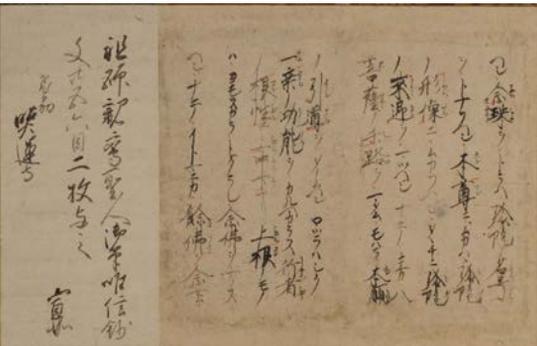


六曲一隻 高山別院照蓮寺(高山市)
紙本金地著色 安土桃山時代(十六世紀末～十七世紀初)

松の上から猿を狙う獯猛な鷲を中央に据え、向かって左に鷲の視線に慄き幹の陰に身を隠す子猿を配す。樹木の全容を描かず、一部の描写でその巨大さを示す手法は、桃山絵画の様式を伝える。落款印章等はないが狩野山楽筆の所伝がある。威風堂々とした作例は教如上人周辺で制作されたにふさわしい。

親鸞聖人筆 唯信鈔(断簡)〔しんらんしょうにんひつ ゆいしんしょう〕

※関西初公開



一幅 高山別院照蓮寺(高山市)
紙本墨書 鎌倉時代(十三世紀)

宗祖親鸞聖人直筆になる『唯信鈔(ゆいしんしょう)』の断簡。『唯信鈔』は、法然上人門下の聖覚(せいかく)法印が浄土念仏の要義を平易に説く書。親鸞聖人は関東教化の時代にこの書に接し、書写したものを弟子たちに授与した。本品は、東本願寺第十三代宣如上人が、別院(御坊)などの子どもたちに分け与えたもののひとつ。

【FAX返信先：06-4393-8216】

〈FAX返信用紙〉

大谷大学 広報デスク
(プランニング・ポート内) 福嶋・橋本・古瀬 宛

大谷大学博物館 2018年度特別展

「飛騨真宗の伝流—照蓮寺高山移転430年—」開催

飛騨地方の山村地域において脈々と受け継がれてきた念仏の伝流を、
高山別院照蓮寺をはじめとするゆかりの寺院の法宝物などから紹介

【期間】2018年10月12日(金)～11月28日(水) / ※一般・大学生 / 500円

※10月11日(木) 11時～12時 大谷大学響流館4F プレス向け展示説明会と内覧会を実施

□ご取材

(□ 10月11日(木) 11時～12時 □その他日時 __月__日__時)

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	計 _____ 名様	
連絡先	TEL	FAX
当日のご連絡先	携帯TEL	
《備考欄》 ご取材につき、ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。		

10月11日(木)に内覧会を希望される方は、10月10日(水)までに添付のFAX返信用紙にてご連絡ください。
別日での取材希望等のご要望は、2日前(土、日、祝除く)までにご回答願います。